



"一票の大切さ"を実感

出前授業を通して、中学生が選挙を体験

11月20日(水)、市立北中学校の全校生徒約330名を対象とした『選挙出前授業』が行われました。

授業の目的は、県選挙管理委員会による模擬「生徒会長選挙」を通して、選挙の仕組みや意義を学ぶこと。

授業の前半では、選挙の基本的事項を学び、後半で、実際に候補者の演説を聞いて、本物の投票箱を使用した投票が行われました。

参加した生徒たちは「実際の選挙ではしっかりした人を選びたい」「人まかせの政治にしたくない」など、選挙の意義について学んだ様子でした。



2020年 新年のごあいさつ



宮古島市教育委員会
教育長 宮國 博

「教育環境の更なる向上」を目指して

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ち溢れた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市教育行政に対し、格別なるご指導、ご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。教育委員会では、「郷土の歴史と文化に誇りを持ち、心豊かで創造性・社会性・国際性に富む人材育成と生涯学習の振興」を基本理念として教育の振興に取り組んでおります。昨年を振り返りますと本市では初の小中一貫教育校、愛称『結の橋学園』の開校、市立図書館・中央公民館の複合施設であり市民の知識の殿堂として文化の中心となる『未来創造センター』の開館など本市の教育行政にとって輝かしい充実した一年となりました。また、本市の重要課題である学力向上につ

いては、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善に取り組み、2019年全国学力学習状況調査では小学校国語で初めて全国平均正答率を上回り、中学校においても昨年度を上回る成果がでており基本理念の実現に向けて着実に進捗いたしました。

今年2020年は、教育行政の大きな変革時期にあります。グローバル化や人工知能・AIなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代に対応するべく自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓く「生きる力」を育むために学習指導要領が約10年ぶりに改訂され、2020年度より本格実施されます。小学校中学年から「外国語教育」を導入、小学校における「プログラミング教育」を必修化するなど社会の変化を見据えた新たな学びへと進化します。教育委員会としましては、新学習指導要領の着実な実施に向け、教育現場と連携し積極的に取り組んで参ります。

このように、子ども達をとりまく社会が著しく変化していく中で、子ども達を未来の宮古島市を担う人材へと育成していくためには学校・家庭・地域・教育委員会が一丸となって取り組む必要があります。家庭・地域を支える市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が市民の皆様方にとりまして幸多き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

宮古島市教育委員会
教育長 宮國 博
委員 中尾 忠 雅
委員 池間 雅 昭
委員 渡久山 ひろみ
委員 下地 一美

